LPガス・LNG

中国南部でガス不足
システム改革の弱点も

中国南部の広東省などでこの冬、異例のガス不足が発生した。経済の急回復に寒波が重なり、ガス消費が大幅に増加。自由化市場で一部供給が追い付かなくなり、ローリー車で輸送される工場向けなどのLNG価格は1カ月間で2倍に跳ね上がった。追加需要に対する今回の供給責任に関して、ガスパイプライン会社と国有ガス会社双方の主張はかみ合っていない。政府が推進してきたガス供給システムの弱点が垣間見えた格好だ。

LNGのローリー輸送は年々増加しており、昨年の流通量は前年比28％増の3714万㌧、ガス消費全体の16％におよんだ。ローリーLNGの6割弱はLNG受入基地から、4割弱は内陸ガス田の液化プラントから出荷されている。

中国では、導管網から供給される一般家庭や病院、公共輸送向けなどのガスが優先供給され、ローリーLNGは市場で売買されている。今回、発電・暖房用のガス需要が急増したため、そのしわ寄せで、市場に出回るLNGがひっ迫し、価格が急騰した。

中国のガス供給は、国内生産が約6割、輸入が約4割。輸入はLNGが7割弱で、パイプラインが3割強。国内生産は拡大政策が推進され、昨年は9・8％増加した。パイプラインは中央アジアに加え、ロシアからの受け入れも増やしている。LNG受入基地の拡充も進展。さらに、枯渇油ガス田や岩塩ドームを利用したガス地下貯蔵設備は、年間ガス消費量の1割程度の貯蔵能力を確保すべく増強されている。

今回、南部で発生したガス不足が全国大に広がらなかったのは、こうしたガス供給ソースの分散化が進展し、供給安定性が向上している証左だといえる。

一方で、同国では、石油・天然ガスの貯蔵・輸送インフラの余剰能力を開放し、供給源の多角化と統一的なインフラの運営管理による効率向上を図るためガス供給システム改革が進められてきた。これに沿って、19年に国営パイプライン会社パイプチャイナが設立され、国有ガス3社が保有するLNG受入基地や幹線パイプラインなどの貯蔵・輸送設備が段階的にパイプチャイナに譲渡されている。このシステムも供給安定性のいっそうの向上につながると期待されているが、今回の事態では十分機能を発揮できなかったようだ。

緊急時の追加需要の供給安定責任について、パイプチャイナと国有ガス3社の言い分は異なっている。石油天然ガス・金属鉱物資源機構の竹原美佳上席研究員は「パイプチャイナはガス供給・調達責任は、国有ガス会社にあると主張。国有ガス会社は長期契約以外の供給増量についてパイプチャイナの承認に時間がかかることが問題だとし、パイプチャイナの硬直的な組織体制を批判。責任の押し付け合いが事態を悪化させたとの見方もある。低炭素化と市場化が加速する中で、エネルギー安定供給と緊急時のバックアップシステムはより一層重要になっている。輸送・操業調整に関する規定など運用面には見直し余地がありそうだ」としている。

50年脱炭素へ 長期方針
INPEXを和文社名に

国際帝石

国際石油開発帝石は1月27日、2050年ネットゼロカーボン社会を展望した長期経営方針を策定したと発表した。二酸化炭素（CO_2）の回収・利用・貯留（CCUS）や天然ガスシフト、カーボンニュートラルLNGの販売などにより上流事業のCO_2を低減するほか、天然ガスから製造する「ブルー水素」にも本格的に取り組む。これにあわせて和文社名を海外で広く浸透している「INPEX」に変更し、組織改編も行う。

気候変動対応目標として①50年の自社排出（スコープ1と2）ネットゼロ②30年の自社排出原単位の30％以上の低減――の二つを定めた。販売先のCO_2低減②水素事業の展開③地熱発電や洋上風力発電など再生可能エネルギーの取り組み強化④メタネーションや人工光合成など7つのガスシフトやカーボンニュートラルLNGの販売などを通じてステークホルダーと協調して進める。

石油天然ガス開発で培った強みを生かして①上流事業のCO_2低減②水素事業の展開③地熱発電や洋上風力発電など再生可能エネルギーの取り組み強化④メタネーションや人工光合成など7つのガスシフトやカーボンニュートラルLNGの販売などを通じてステークホルダーと協調して進める。

LP各社 年頭挨拶

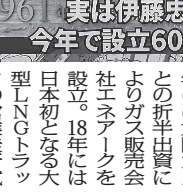
活躍機会見出す
ジャパンガスエナジー　吉田正俊社長

菅総理は昨年10月の所信表明演説で2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すと宣言した。化石燃料の位置付けは大きな転換期を迎えている。

脱炭素社会に到達するには、いかにオフセットするべき対象を極小化するか、低炭素社会を構築していくかが喫緊かつ急務な課題だ。このような観点でLPガスは、相対的に低炭素な化石燃料として、またレジリエンスへの貢献等、まだまだ活躍させるべき機会が埋もれている、それらを見出すべく、もっともっと需要開拓に取り組むことが求められるエネルギーだ。

持続可能社会の構築、その実現・貢献に対するLPガスへの期待は大きい。皆さまと共に、来たる、いかなる時代にあっても、明確かつ圧倒的なLPガスの時代にしていきたい。

（1月19日配信。オンライン新年交流会）



未来へ加速
サイサン　川本武彦社長

昨年はコロナ禍一色の一年だったが、ガスワングループとしては初めて四国にLPガスの営業所を出し、9社がグループへ加入した。これにより昨年度の連結決算は売上高が前年比99％の1328億円、経常利益が51億2000万円の減収増益となった。

昨年10月21日にサイサンは創業75周年を迎えた。改めてお客さま、仕入れ先、銀行に恵まれたなと思う。社員の皆さんにも感謝の思いでいっぱいだ。

本年度のスローガンは「ガスワングループ未来へ加速」だ。コロナ禍によって未来が早くやってきたと言われる。環境変化が激しくなる時に、それにしっかりと対応するのが企業の務めだ。むしろこの変化をチャンスと捉えてデジタル化の推進・効率化を進め、ガスワングループの「2045年ビジョン」に向けて走っていく、そのような一年にしたい。

（1月25日～31日配信。「創業75周年新春の集い」に代わる動画）

「さらなる高みへ」
エネクス 設立60周年

伊藤忠エネクスは1月28日、設立60周年を迎えた。同社の前身は、石油製品販売を目的に設立された伊藤忠商事子会社の伊藤忠燃料。その後、業容を拡大し、2001年に大分県中津市の都市ガス事業を継承。同年、社名を現社名に変更した。10年には電力小売に参入、16年からは家庭向け電力販売も始めた。17年には大阪ガスとの折半出資により大阪ガス販売会社エネアークを設立。18年には日本初となる大型LNGトラックの営業走行試験への協力も開始した。インドネシア、フィリピンへも進出、海外事業の育成にも取り組んでいる。

現在、LPガス、都市ガス、電力などを販売するホームライフ部門、ガソリンスタンドを運営するカーライフ部門、産業向けに石油製品を販売する産業ビジネス部門、発電や電力需給サービスなどを手掛ける電力・ユーティリティ部門の4部門で事業を展開。昨年度の売上高は1兆1000億円。昨年9月末のLPガス直売顧客件数は約55万件、家庭向け電力顧客件数は約10万件に及ぶ。

岡田賢二社長は新年あいさつで「当社は今年、還暦を迎えた。コロナ禍で非常に厳しい環境が続くが、この困難を皆さまと共に乗り越えることで、さらなる高みにいけると強く感じている」と述べた。

新年あいさつの動画で、60周年の歩みを伝える岡田社長

KHK
液石法手続きセミナーを再配信

高圧ガス保安協会（KHK）は昨年11月に開催して好評だった「LP法申請手続等マニュアルセミナー」をオンデマンド配信する。配信期間は5日午後1時～15日午後5時。参加料は、テキスト（「LP法申請手続等マニュアル」および発表要旨集）代込みで一般が1人当たり9000円、KHK会員が8000円（いずれも税込み）。KHKウェブサイトまたは郵送かファックスで申し込む。受付締め切りは12日正午。

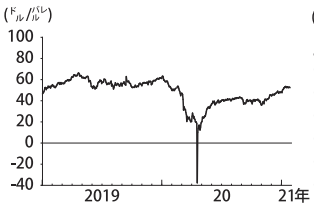
「LP法申請手続等マニュアル」は、液石法における行政手続きのフロー図や申請書の記入例などを盛り込んだ保安業務の実用書。このほど法令改正などを反映し、参考資料を充実した第5版が発行された。

セミナーの配信内容は11月6日の東京会場の模様を収録した約120分の映像。元・愛知県職員としてLPガス関連の申請手続きに携わった担当者が、行政事務の視点から同マニュアルについて説明する。会場での質疑応答の様子も収録されている。

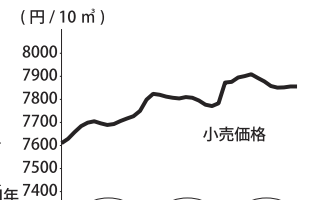
配信期間中は何度でも繰り返し視聴できる。前回セミナーの参加者およびマニュアル購入者向けには、テキストなしで一般6000円、KHK会員5500円の特別価格も用意されている。

エネルギー市況

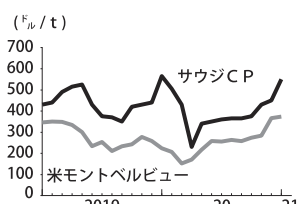
原油（米WTI）価格

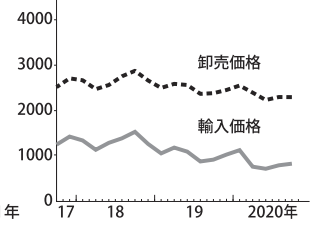


国内LPガス価格



中東産・米国産LPG価格





【週次データ】

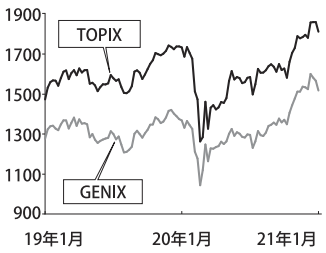
原油（WTI）	52.34ドル/バレル	(1/28)	53.13ドル/バレル	(1/21)
天然ガス（米ヘンリーハブ）	2.664ドル/mmbtu	(1/28)	2.491ドル/mmbtu	(1/21)
LNGスポット				
極東アジア到着価格（JKM）＊	8.477ドル/mmbtu	(1/28)	8.975ドル/mmbtu	(1/21)
北西欧州到着価格（NWE）＊	7.322ドル/mmbtu	(1/28)	6.984ドル/mmbtu	(1/21)
米メキシコ湾岸出荷価格（GCM）＊	6.047ドル/mmbtu	(1/28)	5.800ドル/mmbtu	(1/21)
LNGタンカースポットレート				
米メキシコ湾岸～極東アジア（パナマ運河経由）＊	2.53ドル/mmbtu	(1/28)	3.53ドル/mmbtu	(1/21)
JEPX電力スポット（24時間平均）	9.53円/kWh	(1/29)	62.71円/kWh	(1/22)

【月次データ】

サウジCP（プロパン）	550ドル/t	(1月)	450ドル/t	(12月)
サウジCP（ブタン）	530ドル/t	(1月)	460ドル/t	(12月)
LPG輸入価格	48,338円/t	(12月分)	45,386円/t	(11月分)
LPG卸価格	2,297円/10㎡	(10月)	2,299円/10㎡	(8月)
LPガス一般小売価格（関東地区）	7,318円/10㎡	(12月28日)	7,864円/10㎡	(11月30日)
LNG輸入価格	38,637円/t	(12月分)	34,792円/t	(11月分)
スポットLNG（日本着価格）	8.6ドル/mmbtu	(12月分)	6.8ドル/mmbtu	(11月分)
東京ガス標準家庭料金（東京地区）	4,403円/30㎥	(3月分)	4,317円/30㎥	(2月分)

（注）mmbtuは百万BTU（英国熱量単位）、＊S＆Pグローバルプラッツ社提供

ガス関連株　1月29日



ガスエネルギー新聞株価指数（GENIX）
1,515.64（▲48.44）

東証株価指数（TOPIX）
1,808.78（▲47.86）

GENIX構成50銘柄

銘柄名	終値	前週末終値比
国際石油開発帝石	605.0	▲17.0
石油資源開発	1,990.0	▲51.0
K&Oエナジーグループ	1,427.0	▲3.0
日揮HD	1,180.0	▲35.0
サーラコーポレーション	570.0	▲1.0
TOKAIHD	974.0	▲5.0
トーエル	845.0	25.0
エア・ウォーター	1,693.0	▲56.0
出光興産	2,454.0	▲47.0
ENEOSHD	423.7	▲9.3
コスモエネルギーHD	2,315.0	10.0
日本製鉄	1,207.0	▲98.5
JFEHD	909.0	▲86.0
ノーリツ	1,501.0	▲39.0
長府製作所	2,027.0	▲41.0
リンナイ	10,940.0	▲300.0
フジマック	743.0	▲2.0
マルゼン	1,802.0	▲21.0
三浦工業	5,950.0	▲160.0
三井海洋開発	1,957.0	▲83.0
荏原	3,610.0	▲85.0
千代田化工建設	330.0	▲17.0
パナソニック	1,351.5	▲98.5
新コスモス電機	2,191.0	▲198.0
アズビル	5,340.0	▲250.0

証券コード番号順　単位：円

銘柄名	終値	前週末終値比
愛知時計電機	4,355.0	95.0
伊藤忠商事	2,997.5	▲145.5
三井物産	1,936.5	▲123.0
カメイ	1,194.0	14.0
三菱商事	2,647.5	▲36.0
岩谷産業	6,460.0	▲750.0
三愛石油	1,076.0	▲26.0
ミツウロコグループHD	1,352.0	17.0
シナネンHD	2,933.0	▲137.0
伊藤忠エネクス	1,007.0	▲9.0
ニチガス	5,060.0	▲60.0
日本郵船	2,406.0	▲227.0
商船三井	2,830.0	▲185.0
東京電力HD	401.0	▲8.0
中部電力	1,281.5	▲26.5
関西電力	1,025.0	▲29.5
東京ガス	2,289.5	▲9.0
大阪ガス	1,933.0	▲49.0
東邦ガス	6,150.0	▲160.0
北海道ガス	1,567.0	6.0
広島ガス	376.0	4.0
西部ガス	2,884.0	▲100.0
北陸ガス	3,100.0	30.0
京葉ガス	3,460.0	▲90.0
静岡ガス	949.0	▲35.0

心を込めて　新聞印刷

東日印刷　〒135-0044 東京都江東区越中島2-1-30　☎ 03-3820-0551　http://www.tonichi-printing.co.jp/

形形形

「伝わる かたち」

さまざまな「伝える」を具体的な形に。
進化していく表現方法を追求し
あらゆるコミュニケーションプランをご提案します。

Webサイトデザイン制作・運営 / グラフィックデザイン / カタログ、チラシ、パンフレット・ポスターデザイン制作 / パッケージ / 展示会業務

株式会社フィールドエース　〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-12　Tel.03-3251-5610　Fax.03-3251-5650　https://field-ace.com